



蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト 2025
最優秀賞・栃木 YEG トゥモロー賞



アサニード・サベドラ・ホルヘ・ウィルソン さん

蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト 2025 にて、最優秀賞・栃木 YEG トゥモロー賞を受賞した、出張カメラマンとして「ココ・ウィリー・スタジオ」を運営するウィルソンさんにお話を伺いました。

「オーダーメイドの撮影スタイル
ウィルソンさんの写真の特徴は『映画のワンシーンのような世界観』にあります。映画監督を目指していた経験から、物語性のある一瞬を切り取ります。

栃木の風景に魅せられて
小学4年生のときにペルーから日本にやってきたウィルソンさん。初めて栃木市を訪れたのは、18歳の頃。趣味のツーリング中に道に迷い、偶然たどり着いたのは蔵の街でした。「江戸のような風景に思わずバイクを停めました。さらに散策してみると、1つの街に江戸、大正、明治と様々な時代が混在しているように感じ、とても感動しました。」
その後、東京や青森、三重など様々な場所を過ごす中でも、心に残り続けたのが栃木の風景でした。そうした思いから、昨年4月に栃木市でココ・ウィリー・スタジオをスタートさせました。

「お客様が『やってみたいけど、言い出せないこと』をうまく引き出して、想像以上の写真が撮れたときは最高にうれしいです。また、雨の中という最悪のコンディションでも、工夫して撮った写真を見て、少し不安そうだったお客様の顔がパッと明るくなったことがあり、とても印象に残っています。」と嬉しそうに語ってくれました。ウィルソンさんと一緒に、栃木の見慣れた風景の中で輝く大切な思い出を残してみたいかがでしょうか。

栃木市創業支援中村由美子基金活用事業
「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト 2025」

受賞者が決定しました!



3月3日(火)に「蔵の街ビジネスプランコンテスト 2025」のプレゼンテーション審査会・表彰式が行われ、各賞の受賞者が決まりました。応募総数 21 件の中から書類審査を通過したファイナリスト 5 名は、審査会に向けセミナーや個別相談会を受講し、プレゼンスキルの向上やビジネスプランの磨き上げを図るとともに、参加者同士や事業者とのネットワークの構築を図って来ました。今年の審査会もファイナリスト全員が熱のこもったプレゼンテーションを披露し、各プランの個性が際立った発表となりました。審査の結果、次のとおり受賞者が決定し市長が表彰を行いました。

市として創業を目指す方々の夢の実現のため、今後も支援を続けてまいります。

商工振興課 ☎ (21) 2759



最優秀賞 / 栃木 YEG トゥモロー賞
アサニード・サベドラ・ホルヘ・ウィルソン さん
蔵街美写録 ～ Kuramachi Story Portraits ～ この街で、人生の物語を写す旅へ。
＜プラン概要＞
ライフステージに合わせた人生の大切な瞬間を、地域の魅力と融合させて写真・動画で撮影する。完全予約制で、一組一組に合わせたオーダーメイドの体験を提供。栃木市の歴史的な街並み「蔵の街」や自然豊かな風景を舞台に、人生の節目を美しく記録するロケーション撮影サービスを展開する。

女性特別賞 すずき あすかさん
共育の拠点プロジェクト
～旧寺尾中学校の新たなカタチ(拠点)～
優秀賞 あぶらや 油屋 さん
声 do 栃木 (こえど とちぎ)
～声優体験教室で子どもたちに自信をもたせたい、そしてまちの語り手に～

若者特別賞 こうや じゅんき さん
空き家を地域の未来拠点に
～暮らし体感型宿泊で地域のファンを育み、関係人口・移住に深化へ～
優秀賞 たまだ かつひこ さん
玉田 勝彦 さん
薪火と旬菜で六感の道を
～炎と土が織りなす、五感の先の食体験～

STOP温暖化!
カーボンニュートラル
知っている? マイクロプラスチックごみと地球温暖化の深い関係
私たちの生活に欠かせないプラスチック製品ですが、その多くは石油などの化石燃料から作られており、製造や焼却の過程で二酸化炭素(CO2)が発生し、環境中では紫外線で劣化してメタンなどの温室効果ガスを放出するなど、地球温暖化の原因の一つとなっています。1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量は、日本は米国に次いで世界第2位と多く、プラスチック製品の焼却だけでも、年間約1,600万トンのCO2が排出されています。
また、適切に処理されなかったプラスチックごみは、川や海に流れ込み、自然環境や生態系に悪影響を及ぼすだけでなく、人体への健康被害も懸念されています。特に、微細なプラスチックごみ(5mm以下)は、その小ささゆえに、一度環境中に流出すると回収が非常に困難で、最新の研究で、マイクロプラスチックが大気中を浮遊し、雨や雪とともに地上に降り注いでいることが明らかになっており、マイクロプラスチックが私たちの生活環境(食卓、空気、水)に入り込んでいる現状は極めて深刻な環境問題となっています。プラスチックごみを減らすことは、身近な自然を守るだけでなく、地球温暖化の原因になるCO2を抑えることにもつながります。プラスチックごみの適切な分別や過剰包装を避けるといった身近な工夫でCO2を削減しましょう!
出典: 環境省「プラスチックを取り巻く国内外の状況」、「プラスチック資源循環戦略」
国連環境計画 (UNEP) の報告書『シングルユースプラスチック』(2018年6月発表)

あるが嬉しい花やか事業 協力団体の募集
市民憲章の「自然と伝統を大切に、美しい環境をつくりたい」を実践するため、美しい花のあるまちづくりと花を育て地域コミュニティづくりを行う団体を募集します。花の種子は、各団体でご用意ください。活動終了後、実績報告書を提出いただき、謝礼金を交付します。
対象団体
・自治会、ボランティア団体、趣味のサークル、企業・地域など
・年間を通じて維持管理を行うことができること
・構成員が5人以上
ただし、公共団体から草花の植栽等に係わる補助金および助成金の交付を受けていない団体
対象用地
広く一般の人が常時立ち入ることができる状態にある土地、概ね10アール(1反・300坪)の用地
謝礼金 年間 7万円
申込 提出書類を5月29日(金)までに問合先に提出
問合先 地域政策課 ☎ (24) 0352